

県立広島病院消化器内科・内視鏡科後期研修プログラム

【目標】

消化器疾患の臨床医として必要な診療技能を習得するとともに、一般内科を含めた全人的な診療ができる医師となることを目的としています。

日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会などの専門医資格を得るための基礎を築きます。

【当科の特徴】

県立広島病院は癌治療を診療の中心としていますが、当科でも消化器癌に対し積極的に治療を行っています。消化管の早期癌に対しては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を中心に内視鏡治療を行っています。肝臓癌に対しては ablation 治療(ラジオ波凝固など)、肝動脈塞栓術を施行しています。膵胆道系の悪性腫瘍に対しては内視鏡的減黄術を行っています。

ウイルス性肝炎、炎症性腸疾患、胆石症など良性疾患に対する治療も積極的に行っています。ウイルス性肝炎に対してはインターフェロンや核酸アナログ誘導体による治療を行っています。当院には炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病)の症例が多く、抗 TNF α 製剤、各種薬物療法や白血球除去療法などを行っています。また総胆管結石に対する治療は内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的乳頭拡張術を行っています。

【後期研修の概要】

後期研修医はレジデントとして卒後 3 年目からの 3 年間を消化器内科に属し、外来診療、入院診療、各種検査を指導医のもとに研修します。入院診療は指導医とともに主治医として診療にあたります。

下記に示した各学会のカリキュラムも取り入れて研修します。

1 週間の予定

外来：1 日(午前、午後)	経皮的肝穿刺：随時(午後)
腹部超音波検査：0-1 日(午前)	消化管透視：0-1 日(午前)
内視鏡検査：2-4 日(午前、午後)	
入院診療：毎日	内視鏡読影：毎日(午後 随時)
院内消化器癌カンファレンス(消化器内科、内視鏡科、一般外科、放射線科、病理など)：水曜日午前 8 時から	
消化器内科・内視鏡科カンファレンス：月曜日午後 6 時 30 分から	

内視鏡治療カンファレンス(消化器内科、内視鏡科、内視鏡看護師、病理)：
金曜日午後 4 時 30 分から

超音波検査

超音波検査は検査科で週 1 回研修するとともに必要時に随時検査を行います。
消化管の超音波検査も習得します。

RVS(real time virtual sonography)が可能な超音波装置が常設されており、
自己研修が可能です。

肝疾患の検査、治療

入院患者を中心に肝画像診断、肝生検、抗ウイルス治療、ラジオ波凝固、
肝動脈塞栓術などを習得します。

内視鏡検査

上部内視鏡検査、下部内視鏡検査、逆行性膵胆管造影(**ERCP**)、カプセル内
視鏡検査、ダブルバルーン小腸内視鏡検査および内視鏡治療を行います。カリ
キュラムは下記“日本消化器内視鏡学会専門医研修カリキュラム”を参照。

《日本消化器病学会専門医研修カリキュラム》

日本消化器病学会の専門医を目指し研修します。

1. 一般的事項(独立して行えるようになる)

胸腹部単純 X 線、直腸指診、救急処置一般、輸血、水・電解質管理、栄養
管理(高カロリー輸液、経管栄養)、胃洗浄、イレウスチューブ挿入、浣腸、
腹腔穿刺と排液

2. 診断治療手技

(独立して行えるようになる)

血液生化学検査、肝炎ウイルスマーカー、膵酵素、免疫学的検査、腫瘍マ
ーカー、糞便検査

(経験することが望ましい)

消化管 X 線検査(上部消化管造影、低緊張性十二指腸造影、注腸造影)、内視
鏡検査、胆道造影、**ERCP**、血管造影など

3. 治療手技

(独立して行えるようになる)

EIS、**EVL**、**EMR**、内視鏡的止血処置、内視鏡的ポリープ切除術、**PEI**、
EST、**ENBD**、**ERBD**、

(経験することが望ましい)

経皮的胆道ドレナージ、TAE、動注化学療法、血漿交換など

4. 経験すべき疾患

食道炎、食道潰瘍、アカラシア、食道癌、食道裂孔ヘルニア、食道憩室、食道静脈瘤、急性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、胃癌、胃の悪性腫瘍、胃の良性腫瘍、十二指腸腫瘍、十二指腸憩室、マロリーワイス症候群、腸炎、虫垂炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸結核、薬剤起因性腸炎、アフタ性大腸炎、大腸ポリープ、大腸癌、イレウス、過敏性腸症候群、虚血性腸炎、憩室炎、痔疾患、急性肝炎、亜急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、肝硬変、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、肝内胆汁うっ滞、体質性黄疸、脂肪肝、伝染性単核球症、サイトメガロウイルス肝炎、肝膿瘍、肝嚢胞、肝癌、良性肝腫瘍、特発性門脈圧亢進症、肝内結石症、胆石症、胆嚢炎・胆管炎、胆嚢腺筋症、胆道腫瘍、膵胆管合流異常、先天性胆道拡張症、急性膵炎、慢性膵炎、膵嚢胞、膵癌、急性腹膜炎、癌性腹膜炎、横隔膜下膿瘍、ヘルニア、

《日本肝臓学会専門医研修カリキュラム》

日本肝臓学会の専門医を目指し研修します。

1. 日本肝臓学会認定医研修カリキュラムに沿い、各種肝・胆道疾患の診断と治療が行えるよう研修をする。
 - (1)生化学検査、肝炎ウイルスマーカー、免疫学的検査、腫瘍マーカーなど血清学的検査を理解し、評価できる。
 - (2)超音波、CT、MRI、RI 検査、血管造影、内視鏡的逆行性膵胆管造影など各種画像診断所見を理解し、評価できる。
 - (3)PTCD など各種ドレナージ手技、腹腔鏡および肝生検、血漿交換治療に関して研修する。
2. 主要な肝疾患診療を豊富に経験する。
 - (1)ウイルス肝炎に対する抗ウイルス治療
 - B 型慢性肝炎に対する インターフェロン治療
核酸アナログ誘導体治療
 - C 型慢性肝炎に対する インターフェロン治療
リバビリン併用インターフェロン治療
 - (2)肝癌に対する治療
 - 経カテーテル治療(TACE、TAE)
 - 経皮的 ablation(RFA など)
 - 外科的治療(切除、開腹下あるいは鏡視下 ablation を含む)
 - (3)静脈瘤治療

内視鏡的治療(EVL、EIS)

IVR 治療(BRTO、PTO)

3. その他の肝・胆道疾患を経験する
劇症肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、アルコール性肝障害、
薬剤性肝障害、脂肪肝、特発性門脈圧亢進症、肝性脳症、代謝性肝障害、
難治性腹水、肝膿瘍、胆石症、胆道感染症、胆道腫瘍
4. 肝・胆道系領域に関する論文作成ができる。
5. 以上の研修は指導医および認定医が担当する。

《日本消化器内視鏡学会専門医研修カリキュラム》

内視鏡専門医を目指し、3年間で基礎的な検査から最新の治療までを研修します。

〈目標〉上部内視鏡検査、下部内視鏡検査および ERCP が確実にできるようになり、さらに処置・治療が行えるようになる。合併症に適切に対応できる。

検査：上部内視鏡検査、下部内視鏡検査、ERCP、超音波内視鏡など

治療：ポリペクトミー、EMR、ESD、止血術、EVL、EIS、EST、EPD、ENBD、
ERBD など

基本的カリキュラム

〈1年目〉

1. 内視鏡検査装置、洗浄器および高周波装置などの使用方法を習得し、使用できるようになる。
2. 上部内視鏡検査、下部内視鏡検査の挿入と観察、生検などの処置が行えるようになる。
3. ERCP やポリペクトミー、止血術などの内視鏡治療の介助を行い、その手技、方法を取得する。

〈2年目〉

1. 上部内視鏡検査、下部内視鏡検査の挿入と観察、生検などの処置が確実に
行えるようになる。
2. ERCP を経験する。
3. ポリペクトミーや止血術などの内視鏡治療を実施する。
4. EMR や EST などを経験する。

〈3年目〉

1. ポリペクトミーや止血術などの内視鏡治療が確実にできるようになる。
2. EMR や EST などが行えるようになる。
3. ESD など高度な内視鏡治療を経験する。

【指導スタッフ】

指導責任者：隅岡正昭内視鏡科主任部長

指導医

消化器内科（主たる専門分野）

渡辺千之 部長（消化管疾患、炎症性腸疾患、内視鏡治療）

北本幹也 部長（肝疾患）

桑田幸央 部長（膵、胆道疾患、消化器疾患）

小道大輔 部長（膵、胆道疾患、消化器疾患）

内視鏡科

隅岡正昭 主任部長（消化管疾患、内視鏡治療）

赤木盛久 部長（消化管疾患、内視鏡治療）

平賀裕子 部長（消化管疾患、内視鏡治療）

平本智樹 部長（消化管疾患、内視鏡治療）

【施設認定】

日本内科学会認定医制度教育病院

指導医：渡邊千之、北本幹也、隅岡正昭、赤木盛久、平賀裕子、平本智樹

認定医：桑田幸央、小道大輔

日本消化器病学会認定施設

指導医：渡邊千之、北本幹也、隅岡正昭、平賀裕子、赤木盛久

専門医：平本智樹、桑田幸央、小道大輔

日本消化器内視鏡学会指導施設

指導医：渡邊千之、隅岡正昭、北本幹也、赤木盛久、平賀裕子、小道大輔

専門医：平本智樹、桑田幸央

日本肝臓病学会認定施設

指導医：北本幹也

在籍後期研修医数:3名

処遇

勤務時間:40時間/週、休日:土日祝日、当直回数:2-3回/月、
身分:任期付常勤正規職員、給与:約600万円+時間外/年、宿舎:なし、
学会参加費用:約10万円/年

関連学会施設認定状況

日本内科学会認定医制度教育病院 日本内科学会
日本消化器病学会認定医制度認定施設 日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会認定医制度指導施設 日本消化器内視鏡
日本呼吸器学会認定教育施設(内科系) 日本呼吸器学会
日本循環器病学会専門医研修施設 日本循環器病学会
日本アレルギー学会認定教育施設 日本アレルギー学会
日本糖尿病学会認定教育施設 日本糖尿病学会
日本腎臓学会認定研修施設 日本腎臓学会
日本神経学会認定教育関連施設 日本神経学会
日本心身医学会研修診療施設 日本心身医学会
日本小児科学会認定医制度研修施設 日本小児科学会
日本外科学会認定医制度修練施設 日本外科学会
日本外科学会専門医修練施設 日本外科学会
日本小児外科学会認定医育成認定施設 日本小児外科学会
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設 日本胸部外科学会
日本整形外科学会認定制度研修施設 日本整形外科学会
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所 日本脳神経外科学会
日本透析医学会認定医制度認定施設 日本透析医学会
日本皮膚科学会認定医研修施設 日本皮膚科学会
日本泌尿器科学会専門医教育施設 日本泌尿器科学会
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設 日本産科婦人科学会
日本眼科学会専門医制度研修施設 日本眼科学会
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 日本耳鼻咽喉科学会
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 日本超音波医学会
日本医学放射線学会専門医修練機関 日本医学放射線学会
日本麻酔学会麻酔指導病院 日本麻酔学会
日本ペインクリニック学会指定研修施設 日本ペインクリニック学会

日本救急医学会認定医指定施設 日本救急医学会
日本集中治療医学会専門医研修施設 日本集中治療医学会
日本病理学会認定病院 日本病理学会
日本プライマリーケア学会認定医研修施設 日本プライマリーケア学会
日本臨床病理学会臨床検査医研修施設 日本臨床病理学会
日本消化器外科学会専門医修練施設 日本消化器外科学会
日本大腸肛門病学会専門医修練施設 日本大腸肛門病学会
日本リウマチ学会教育施設 日本リウマチ学会
日本補綴歯科学会認定研修機関 日本補綴歯科学会
日本臨床細胞学会認定施設 日本臨床細胞学会
日本臨床微生物検査技師制度認定研修施設 日本臨床微生物学会
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会
日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設 日本呼吸器外科学会
日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本脳卒中学会
日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 日本婦人科腫瘍学会
日本口腔外科学会認定研修機関 日本口腔外科学会
日本リハビリテーション医学会研修施設 日本リハビリテーション医学会

診療実績

病床数:49床(消化器内科、内視鏡内科)

内視鏡検査件数 2009年:上部内視鏡 4011件、大腸内視鏡 2552件、ERCP 183件、カプセル内視鏡 23件、ダブルバルーン内視鏡 17件

学術関連 後期研修医発表 2009年

1. :肝細胞癌と他臓器癌の重複癌の検討。松本陽子、北本幹也、林 亮平、野田育江、田中未央、児玉美千世、平本智樹、赤木盛久、渡邊千之、山田博康、隅岡正昭、今川 勝、村上友則、門前芳夫、小橋俊彦、中原英樹、福田康彦
第50回肝疾患ゼミナール 2009.2.7 広島
2. EBウイルス陽性胃 sm 癌の2例。松本 陽子、赤木 盛久、隅岡 正昭、林 亮平、野田 育江、田中 未央、児玉 美千世、平本 智樹、渡辺 千之、北本 幹也、山田 博康、今川 勝、漆原 貴、福田 康彦、西阪 隆
第96回広島がん治療研究会 2009.3.28 広島
3. 感染性大腸炎と潰瘍性大腸炎の内視鏡所見スコア化による鑑別。松本陽子、渡邊 千之、隅岡 正昭、林 亮平、野田 育江、田中 未央、児

- 玉 美千世, 平本 智樹, 赤木 盛久, 北本 幹也, 山田 博康, 今川 勝
第 111 回広島消化器病研究会 2009.4.11
4. 肝細胞癌関連腫瘍マーカー 3 種同時測定の有用性 林 亮平、北本幹也、井川 敦、松本陽子、野田育江、田中未央、児玉美千世、平本智樹、赤木盛久、渡邊千之、山田博康、隅岡正昭、今川 勝
第 111 回広島消化器病研究会 2009.4.11
 5. 動脈塞栓術にて止血し得た脾仮性嚢胞内出血の 2 症例。林 亮平、山田博康、渡辺千之、赤木盛久、松本陽子、野田育江、田中未央、児玉美千世、平本智樹、北本幹也、隅岡正昭、今川 勝 第 95 回 日本消化器病学会総会 北海道 2009.5.9
 6. 小肝細胞癌においても肝関連腫瘍マーカー陽性例では切除がのぞましい。林 亮平、北本幹也、野田育江、今川 勝、小橋俊彦、中原英樹、福田康彦、村上友則 第 45 回 日本肝臓学会総会 神戸 2009.6.4
 7. 食道癌肺転移と鑑別困難であった肺放線菌症の一例 林 亮平、平本智樹、隅岡正昭、井川 敦、松本陽子、赤木盛久、北本幹也、渡辺千之、山田博康、今川 勝 第 91 回日本消化器病学会中国支部会 岡山 2009.6.14
 8. 化学療法が有効であった Epstein-Barr virus(EVB)関連高度進行胃癌の 2 例 松本陽子、赤木盛久、篠崎勝則、隅岡正昭、井川 敦、林 亮平、田中未央、平本智樹、平賀裕子、渡辺千之、北本幹也、山田博康、今川 勝、西阪 隆 第 91 回日本消化器病学会中国支部会 岡山 2009.6.14
 9. 肝切除後 10 年以上無再発生存中の肝細胞癌の 1 例。井川 敦、林 亮平、北本幹也、山田博康、今川 勝 小橋俊彦、札幌保宏、中原英樹、板本敏行 第 45 回 日本肝癌研究会
 10. ダブルバルーン内視鏡が治療に有用であった術後腸管再建例の胆管(膵管)空腸吻合部狭窄の 4 例 林 亮平、平本智樹、隅岡正昭、井川 敦、松本陽子、平賀裕子、赤木盛久、北本幹也、渡辺千之、山田博康、今川勝 第 102 回 日本消化器内視鏡学会中国地方会 島根 2009.7.5
 11. Epstein-Barr virus(EVB)陽性胃癌と陰性胃癌が併存した多発早期胃癌の 1 例 松本陽子、赤木盛久、隅岡正昭、井川 敦、林 亮平、田中未央、平本智樹、平賀裕子、渡辺千之、北本幹也、山田博康、今川 勝、漆原隆、西阪 隆 第 102 回 日本消化器内視鏡学会中国地方会 島根 2009.7.5
 12. 上腸間膜動脈症候群が原因と考えられた急性胃拡張の 1 例 林 亮平、山田博康、児玉美千世、松本陽子、平本智樹、平賀裕子、赤木盛久、北本幹也、渡邊千之、隅岡正昭 日本超音波医学会第 45 回中国地方会 広

島 2009.9.12

13. 好酸球性胃腸症と考えられた1例 松本陽子、山田博康、林 亮平、平本智樹、西坂 隆、平賀裕子、北本幹也、渡邊千之、隅岡正昭、今川 勝
日本超音波医学会第45回中国地方会 広島 2009.9.12
14. アメーバ赤痢の1例 松本陽子、山田博康、井川 敦、平本智樹、西坂 隆、赤木盛久、北本幹也、渡邊千之、隅岡正昭、今川 勝
日本超音波医学会第45回中国地方会 広島 2009.9.12
15. Crohn病における長期緩解維持症例の検討 林 亮平、渡邊千之、隅岡正昭、松本陽子、野田育江、田中未央、児玉美千世、平本智樹、赤木盛久、北本幹也、山田博康、今川 勝第51回日本消化器病学会大会(JDDW2009.10.15 京都)
16. 自己免疫性膵炎の1症例 林 亮平、山田博康、井川敦、松本陽子、平本智樹、赤木盛久、平賀裕子、北本幹也、渡邊千之、隅岡正昭、今川 勝
第101回内科学会中国地方会 広島 2009.11.14
17. 特発性筋肉内血腫に対し動脈塞栓術が有効であったアルコール性肝硬変の1例 松本陽子、赤木盛久、北本幹也、隅岡正昭、林 亮平、平本智樹、平賀裕子、渡邊千之、山田博康、今川 勝 第101回内科学会中国地方会 広島 2009.11.14
18. ESDで一括切除した表在隆起型バレット食道腺癌の1例 井川 敦、赤木盛久、平賀裕子、隅岡正昭、松本陽子、林 亮平、平本智樹、渡邊千之、北本幹也、山田博康、今川 勝、西坂 隆 第103回日本消化器内視鏡学会中国地方会 広島 2009.11.28
19. 肝障害を契機に診断された血管内リンパ腫の1例 林 亮平、平本智樹、山田博康、井川 敦、松本陽子、平賀裕子、赤木盛久、北本幹也、渡邊千之、隅岡正昭、今川 勝 第92回日本消化器病学会中国支部例会 広島 2009.11.28
20. 当院で経験した Epstein-Barr virus(EBV)関連胃 SM 癌の臨床病理学的検討 松本陽子、赤木盛久、西坂 隆、隅岡正昭、井川 敦、林 亮平、平本智樹、平賀裕子、渡邊千之、北本幹也、山田博康、今川 勝、漆原貴、板本敏行 第103回日本消化器内視鏡学会中国地方会 広島 2009.11.28
21. EOB造影MRIが診断に有用であった極小肝癌の3切除例 井川 敦、松本陽子、林 亮平、北本幹也、山田博康、今川 勝、大森一郎、小橋俊彦、中原英樹、板本敏行、西坂 隆、福原敏行 第51回広島肝疾患ゼミナール 広島 2010.2.6

論文

1. 超高齢女性に発症した自己免疫性肝炎の1例 林 亮平、北本幹也、野田育江、渡辺千之、山田博康、今川 勝、松本陽子、田中未央、児玉美千世、平本智樹、赤木盛久、隅岡正昭、西阪 隆 肝臓 50;9:527-531, 2009
2. Noda I, Kitamoto M, Nakahara H, Hayashi R, Okimoto T, Monzen Y, Yamada H, Imagawa M, Hiraga N, Tanaka J, Chayama K. Regular surveillance by imaging for early detection and better prognosis of hepatocellular carcinoma in patients infected with hepatitis C virus. J Gastroenterol. 2009 Oct 29. PubMed PMID: 19866332.

当院の特徴

当院には肝臓疾患、胆膵疾患、消化管疾患に対する専門医がそろっており、充実した後期研修ができる。また医療機器も充実している。

消化器関係医療機器:ラジオ波凝固装置、オリンパス内視鏡装置(NBI)、フジノン内視鏡装置(FICE)、超音波内視鏡装置(専用機、細径)、ダブルバルーン内視鏡装置、カプセル内視鏡装置、高周波発生装置(バイオ、ICC200)、アルゴンプラズマ凝固装置